

発行：にじが丘自主防災会

発行責任者：越智 勲

組長さんにご協力を頂き防災アンケートを実施し、38組中29組の回答を頂きました。

アンケート結果を紹介いたしますので、各家庭で今一度防災について考えてみませんか？

	はい	いいえ	はい率%	30年度%
家具の転倒防止用固定をしている	13	16	45	33
冷蔵庫の転倒防止用固定をしている	3	26	<u>10</u>	
非常持ち出し品の準備をしている	16	13	55	58
非常備蓄品の準備をしている	15	13	54	58
火災報知器設置している	24	5	83	73
家庭用消火器設置している	17	12	59	50
家族での防災の話し合い実施している	19	9	68	32
家族で災害伝言ダイヤルの使い方を確認した	6	23	<u>21</u>	45
大分市・大分県防災メール登録している	12	16	43	45
ハザードマップによる自宅の状況確認した	23	6	79	
自宅から避難場所への避難経路確認した	25	4	86	
	知っている	知らない	はい率	
地域の指定緊急避難場所・指定避難場所	26	3	90	45
にじが丘 AED 設置場所	16	12	57	72
にじが丘防災資機材保管場所	18	11	62	72
最寄りの消火栓/消化水槽の場所	12	15	44	

大事なことは命を守ること！

想像してみてください。いくら非常備蓄品をしていても命を落としては何も役立ちません
 まずは、家具・大型家電の転倒防止用固定を行いましょう。
 (阪神淡路大震災では、犠牲者の9割が家屋や家具の下敷き)
 何日分の備蓄品を確保しているか？
 1日分：2 2日分：4 3日分：7 7日分：1
 15日分：1 合計15世帯 52%
 以前は3日分と言われていましたが、家族全員で7日分を確保しましょう。
 大地震が発生すればコンビニの食料品はすぐに無くなります。災害支援物資もインフラが破壊され届きません。

→ 大分市配布/HP のハザードマップで確認しましょう
 → 公民館受付窓口横です。
 → にじが丘 HP 防災会に新しく記載しました。
 → にじが丘 HP 自主防災会に記載しています。

①はいといいえ合わせて29にならないのは未記入のためです。

②赤線の数字は非常持ち出しや備蓄をしている等の2項目に対して一つの設問としていたので同数としました。